

現在と未来をつなぐ技術を共創する総合研究所の取り組み

Toshiba Corporate Laboratory's Approach to Co-Creation of Technologies That Connect Present and Future

巻頭言

共創による技術開発が拓く 持続可能で強靱な未来

Building a Sustainable and Resilient Future through Co-Creation



佐田 豊
SATA Yutaka, D. Eng.

世界は今、構造変化の大きなうねりの中にあります。地政学的緊張の高まりは、経済安全保障やサプライチェーンに大きな影響を及ぼし、エネルギーや重要物資の安定供給は各国共通の課題となっています。気候変動による自然災害の激甚化への対応は正に待ったなしの状態であり、地球規模での脱炭素化と社会インフラの強靱(きょうじん)化の両面で迅速な行動が求められています。生成 AIをはじめとするデジタル技術の急速な進展は、産業や暮らしに新たな価値をもたらす一方で、膨大な計算資源と電力を必要とし、世界のエネルギー需要をかつてないペースで押し上げています。

これらの変化は相互に絡み合い、単一の技術や一企業の取り組みだけでは解決し得ない複雑な課題として、私たちの前に立ちはだかっています。持続可能な社会と豊かな地球を次世代へ確かに引き継ぐためには、お客様、パートナー、そして社会とともに目指すべき未来の姿を描き、その実現を担う革新的技術とともに生み出していくことが不可欠です。そして、科学と産業の近接化によって先端研究の成果を速やかに社会へ実装していくことが、これまで以上に強く求められています。

東芝グループは、こうした社会変化に応えるため、共創の拠点となるイノベーション・パレットを2024年1月に川崎の地に開設しました。年間2,000名以上の方にご来所いただき、対話やワークショップを通じて未来を構想する場として活用しています。続いて2025年4月には、本社の研究開発部門と事業会社のワークスラボを統合し、総合研究所を設立しました。エネルギー、社会インフラ、デバイス、AI・デジタル、生産技術、先端材料、量子にわたる広範な技術資産と多様な人材を結集し、お客様やパートナーとの共創を通して、革新的技術・ソリューションの開発と速やかな社会実装を推し進めることで、複雑化する社会課題の解決に取り組んでまいります。

この特集では、総合研究所が取り組むこれらの領域における最新の研究開発成果を体系的にご紹介します。ここに集めた数々の技術が、読者の皆様や新たなパートナーとの共創の起点となり、信頼と期待を超えて、持続可能な豊かで明るい未来を切り拓(ひらく)一助になることを心より願っています。

上席常務執行役員 博士(工学)
Corporate Officer, Corporate Senior Vice President